

# 断魚溪



## 関連する見学場所と情報

島根県環境生活部自然環境課：<http://www.pref.shimane.lg.jp/shizenkankyo/>

同上に、中国自然歩道「萩原山断魚溪モデルコース」と断魚溪観音滝県立自然公園の情報があります。

邑南町役場地域振興課 Tel.0855-95-1116

## 記念物指定など

断魚溪観音滝県立自然公園 ・ 国指定名勝

## ジオサイトの特徴やみどころ

断魚溪は、江の川の支流の濁川が流れる山間地にあり、侵食されてむき出しになった流紋岩の崖が約 4.0kmにわたって連なる峡谷です。濁川には魚切りと呼ばれる大きな河床の段差が数箇所あります。濁川の河床断面を見ると、上下流とも緩やかですが、中間は、断魚溪をはさんで高低さ約 70m 以上にも達しています。陸地の隆起によって下流部の侵食が活発になり、今日の地形を形成しています。



写真1：高い崖面が連続する雄大な峡谷の断魚溪

## 地質学的な意義

桜江町を中心とした地域では、新生代古第三紀中頃～後期（4,400～3,000 万年前）に大地が陥没し、激しい火山活動が起き、大量の流紋岩溶岩と流紋岩質火砕流が噴出し、桜江町一帯（断魚溪は端部に相当）に厚く堆積しました。これらの火山岩類は、桜江層群と呼ばれています。岩質は硬く亀裂がよく発達しています。そのため、亀裂面に沿って侵食が進み、深い垂直的な崖面が形成されています。断魚溪も下図写真に示すような岩盤を深く侵食した溝状地形が特徴的です。このように水の流れによる自然の造形が見どころです。



写真2：上流域に広がる岩畳。水の造形顕著。



写真3：中流域の河床屈曲部。岩盤亀裂発達。

## 所在地とアクセス方法

### ●島根県邑智郡邑南町井原地内

→断魚溪は、国道 261 号を川本町因原から邑南町井原に向かう途中にあり、国道 261 号から案内板に沿って脇道に入ります。遊歩道が設置されています。駐車場有。



図1：散策コース。①は岩棚 ②は連理の滝

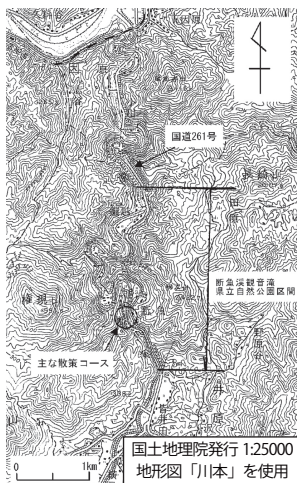


写真4：中流部の岩盤洗堀状況。



写真5：下流域の平坦部。河床勾配は緩い。